

### 3 健康状態

#### (1) 疾病・異常等の状況

◇表7 主な疾病・異常等の被患率

区分		裸未 眼 視 満 力 1 の 者	眼 の 疾 病 ・ 異 常	耳 疾 患	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患	むし歯(う歯)			歯 列 ・ 咬 合	ア 性 ト 皮 ブ ロ シ ト 炎	心 電 図 異 常	蛋 白 検 出 の 者	ぜ ん 息
						計	処 完 了 置 者	未 の 処 あ る 歯 者					
幼稚園	埼玉県	18.4	0.7	-	0.8	16.6	6.4	10.3	3.0	1.1	...	1.2	0.9
	(前年度)	(14.4)	(0.8)	(0.1)	(0.6)	(20.2)	(9.7)	(10.5)	(3.3)	(1.3)	...	(0.5)	(0.2)
	全 国	26.5	1.4	1.9	2.7	20.7	7.4	13.3	4.6	1.6	...	1.2	1.2
小学校	埼玉県	35.7	4.2	5.5	8.3	26.7	14.8	11.9	4.6	2.2	1.7	2.1	2.6
	(前年度)	(36.0)	(3.4)	(5.3)	(8.2)	(28.5)	(15.4)	(13.1)	(4.7)	(1.9)	(1.9)	(1.4)	(2.0)
	全 国	36.8	5.5	6.3	12.1	32.9	16.4	16.5	5.3	3.2	2.6	1.0	2.9
中学校	埼玉県	56.4	2.5	4.6	6.6	21.4	13.6	7.8	4.5	2.4	2.2	4.0	1.3
	(前年度)	X	(2.3)	(4.3)	(9.2)	(24.7)	(15.3)	(9.5)	(4.4)	(1.7)	(3.0)	(4.3)	(2.0)
	全 国	60.6	4.8	4.8	10.6	26.5	16.1	10.4	5.4	3.0	3.0	2.8	1.9
高等学校	埼玉県	69.2	1.6	3.4	7.3	31.1	20.7	10.4	4.3	1.5	2.1	2.5	0.9
	(前年度)	X	(3.0)	(4.1)	(6.5)	(30.5)	(17.9)	(12.6)	(3.7)	(1.4)	(2.3)	(2.0)	(1.1)
	全 国	71.1	3.3	2.6	7.9	34.7	21.5	13.2	4.6	2.6	3.1	2.7	1.4

注) 1 全国の値については、小数点以下第2位を四捨五入している。以下の各表において同じ。

2 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ調査対象としている。

#### (2) 主な疾病・異常等の状況

##### ア 裸眼視力(表7・8・9、図7・8・9、統計表4・5・9)

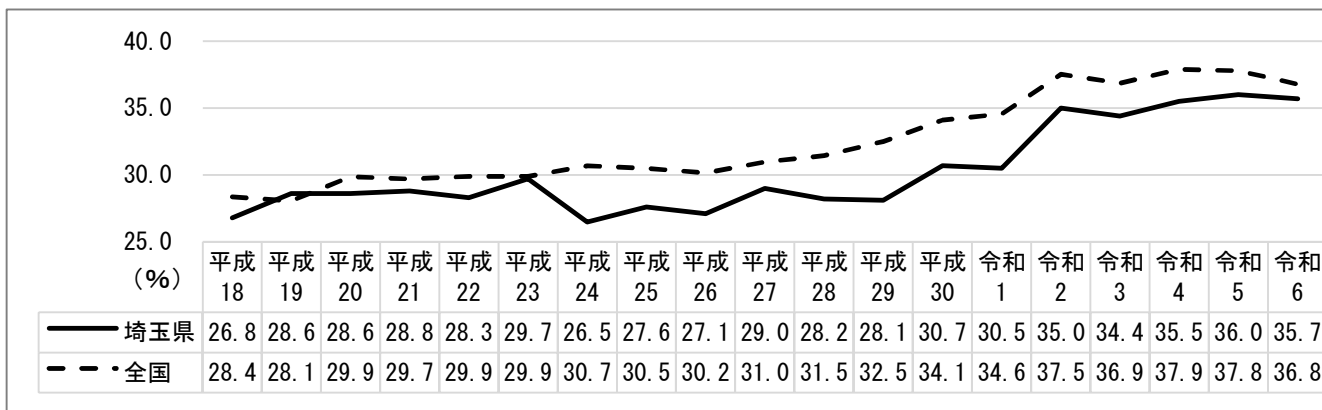
- ・小学生の裸眼視力1.0未満の者の割合は、過去2番目となった。(35.7%)
- ・小学生の裸眼視力1.0未満の者の割合の推移を直近5年間(令和2年～6年)とその前5年間(平成27年～令和元年)の平均値で比べると直近5年間の方が高くなっている。
- ・小学生の裸眼視力を年齢別に見ると、6歳(小学校1年生)で約4人に一人(24.7%)、11歳(小学校6年生)では半数近く(46.9%)が裸眼視力1.0未満になっている。
- ・小学生の裸眼視力0.3未満の者の割合は、学年が上がるとともに増加し、6歳(小学校1年生)の1.7%に比べ、11歳(小学校6年生)では20.5%と、18.8ポイント高くなっている。
- ・男女間で比較すると、小学生の裸眼視力1.0未満の者の割合は、7歳(小学校2年生)から11歳(小学校6年生)で女子が男子を上回っている。
- ・全国と比較すると、小学生の裸眼視力1.0未満の者の割合は、男子は6歳(小学校1年生)10歳(小学校5年生)、女子は8歳(小学校3年生)9歳(小学校4年生)で全国を上回っている。

◇表8 年齢別裸眼視力1.0未満の者の割合

(単位: %)

区分	幼		小学校					中学校			高校		
	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
1.0未満 0.7以上	15.0	13.4	11.3	11.1	10.9	10.1	10.5	9.7	X	X	X	X	X
0.7未満 0.3以上	3.0	9.6	10.2	14.7	15.6	16.2	15.9	18.4	X	X	X	X	X
0.3未満	0.4	1.7	4.2	7.7	11.4	17.5	20.5	22.4	X	X	X	X	X

◆図7 小学生の裸眼視力 1.0 未満の者の割合の推移

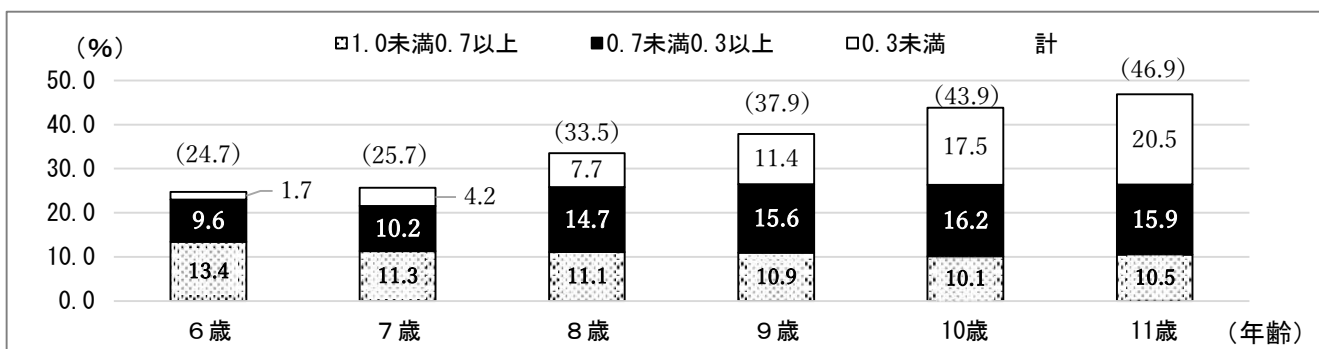


◇表9 小学生の裸眼視力 1.0 未満の者の推移（直近5年とその前5年の比較）（単位：％）

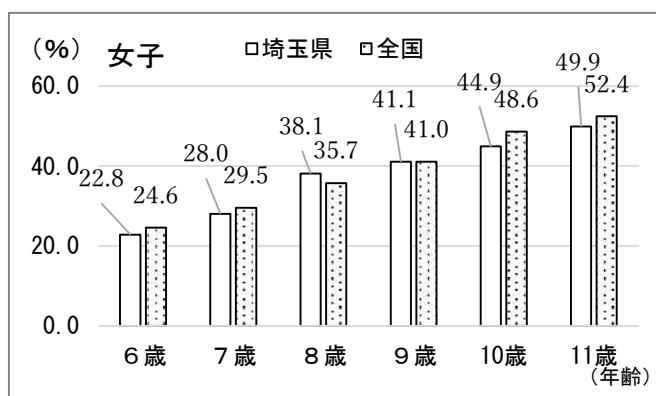
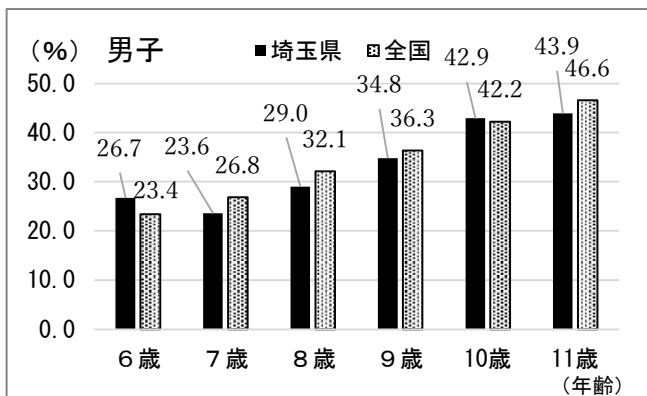
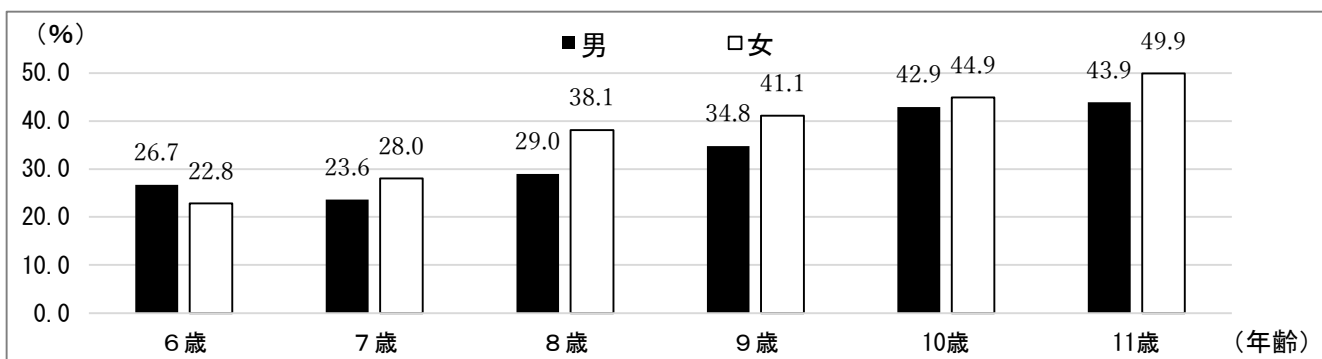
区分	平成27年～令和元年	令和2年～6年
疾病・異常被患率の平均値	29.3	35.3

注）平均値は、5年間の疾病・異常被患率の平均値より算出している。（小数点以下第二位を四捨五入）

◆図8 小学生の年齢別 裸眼視力 1.0 未満の者の割合（埼玉県）



◆図9 小学生の年齢別裸眼視力 1.0 未満の者の割合（男女の比較・全国との比較）



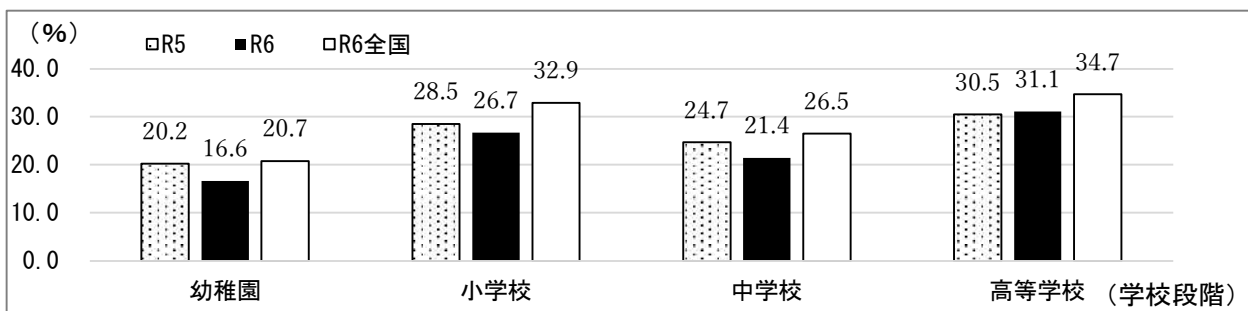
イ むし歯（う歯）（表 10・11、図 10・11、統計表 4・5・9）

- ・被患率を年齢別で見ると、17歳（35.5%）が最も高くなっている。
- ・前年度と比較すると、半数以上の年齢で減少している。
- ・全国と比較すると、すべての年齢で下回っている。
- ・むし歯（処置完了者を含む）の者の割合を前年度と比べると高等学校以外は減少しており、高等学校で4割以下、小学校・中学校では3割以下、幼稚園では2割以下になっている。
- ・被患率について直近5年間（令和2年～6年）とその前5年間（平成27年～令和元年）の平均値を比べると直近5年間の方が低くなっている。

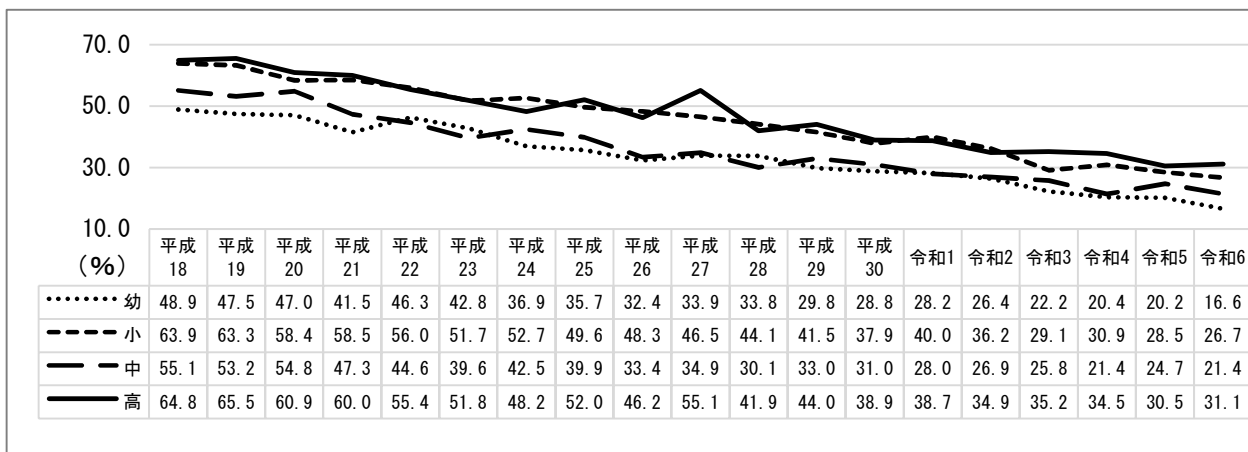
◇表 10 年齢別むし歯（う歯）の者の割合（単位：％）

区分	年齢	埼玉県 (A)			前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)
		処置完了者	未処置歯のある者					
幼稚園	5歳	16.6	6.4	10.3	20.2	▲ 3.6	20.7	▲ 4.1
	6歳	20.8	8.7	12.1	23.2	▲ 2.4	26.4	▲ 5.6
小学校	7歳	26.7	13.5	13.2	28.2	▲ 1.5	33.2	▲ 6.5
	8歳	31.3	17.8	13.5	34.4	▲ 3.1	37.7	▲ 6.4
	9歳	31.2	18.2	13.1	33.5	▲ 2.3	38.8	▲ 7.6
	10歳	27.9	16.7	11.2	28.9	▲ 1.0	33.7	▲ 5.8
	11歳	21.7	13.3	8.3	22.8	▲ 1.1	27.3	▲ 5.6
中学校	12歳	18.3	11.4	6.9	25.1	▲ 6.8	25.1	▲ 6.8
	13歳	22.3	14.6	7.7	23.6	▲ 1.3	26.5	▲ 4.2
	14歳	23.4	14.7	8.7	25.4	▲ 2.0	27.8	▲ 4.4
高等学校	15歳	28.0	19.2	8.8	26.5	▲ 1.5	31.1	▲ 3.1
	16歳	30.1	19.7	10.4	31.8	▲ 1.7	34.5	▲ 4.4
	17歳	35.5	23.4	12.1	33.5	2.0	38.7	▲ 3.2

◆図 10 学校段階別むし歯（う歯）の者の割合



◆図 11 むし歯（う歯）の者の割合の推移（埼玉県）



◇表 11 むし歯（う歯）の者の推移（直近5年間とその前5年間の比較）（単位：％）

区分		平成27年～令和元年	令和2年～6年
疾病異常被患率 平均値	幼稚園	30.9	21.2
	小学校	42.0	30.3
	中学校	31.4	24.0
	高等学校	43.7	33.2

注) 疾病・異常被患率の平均値は、小数点第二位を四捨五入している。

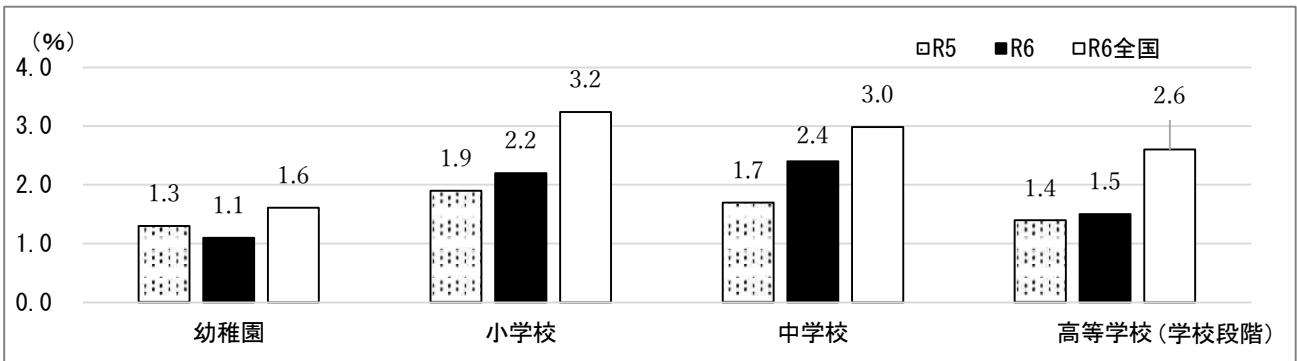
ウ アトピー性皮膚炎（表 12、図 12・13、統計表 4・5・9）

- ・被患率を年齢別にみると、14歳（2.7%）が最も高くなっている。
- ・前年度と比較すると、半数以上の年齢で増加している。
- ・全国と比較すると、すべての年齢で下回っている。
- ・被患率を学校段階別でみると中学校が最も高くなっている。

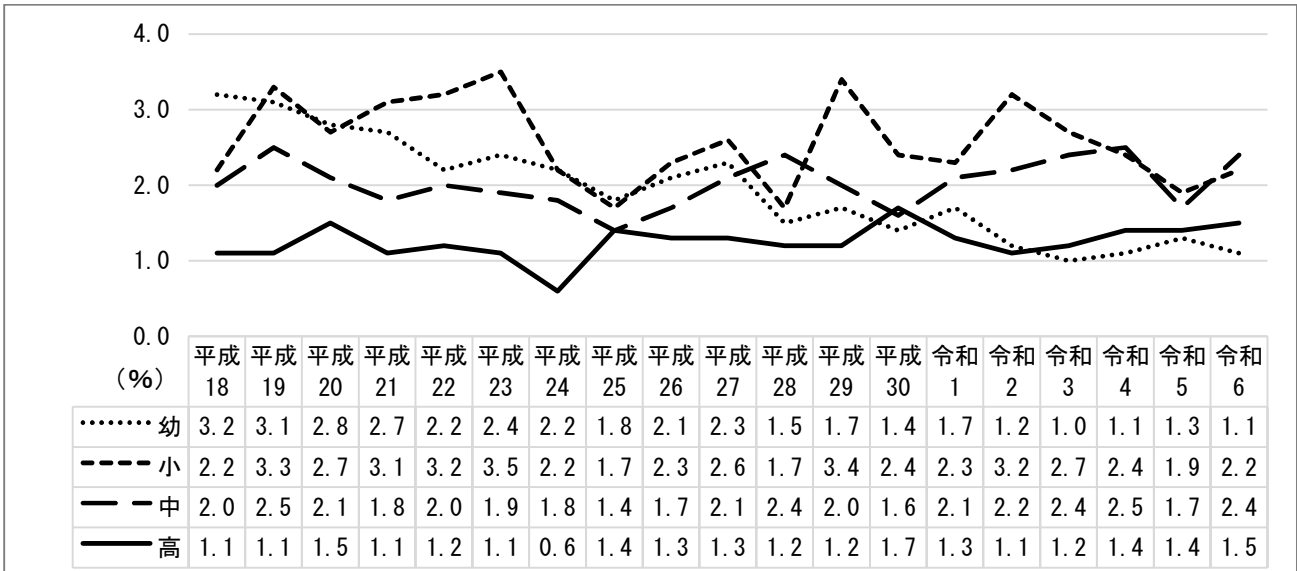
◇表 12 年齢別アトピー性皮膚炎の者の割合（単位：％）

区分		埼玉県 (A)	前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)
幼稚園	5歳	1.1	1.3	▲ 0.2	1.6	▲ 0.5
	6歳	1.9	1.9	0.0	3.2	▲ 1.3
小学校	7歳	2.2	2.4	▲ 0.2	3.2	▲ 1.0
	8歳	2.1	2.0	0.1	3.2	▲ 1.1
	9歳	2.3	1.9	0.4	3.2	▲ 0.9
	10歳	2.4	1.8	0.6	3.4	▲ 1.0
	11歳	2.4	1.6	0.8	3.3	▲ 0.9
中学校	12歳	2.6	1.8	0.8	3.0	▲ 0.4
	13歳	2.0	1.6	0.4	2.9	▲ 0.9
	14歳	2.7	1.7	1.0	3.0	▲ 0.3
高等学校	15歳	1.7	1.3	0.4	2.7	▲ 1.0
	16歳	1.3	1.5	▲ 0.2	2.6	▲ 1.3
	17歳	1.4	1.4	0.0	2.6	▲ 1.2

◆図 12 学校段階別アトピー性皮膚炎の者の割合



◆図 13 アトピー性皮膚炎の者の割合の推移（埼玉県）



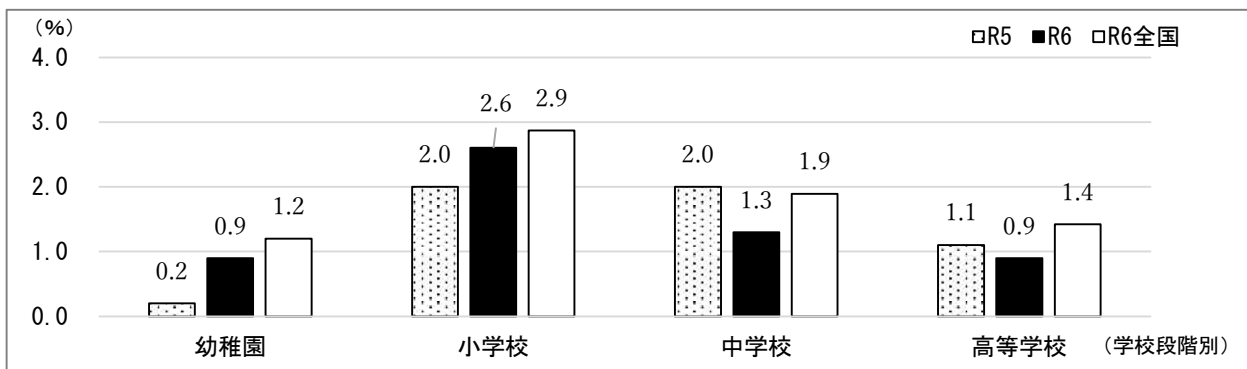
エ ぜん息 (表 13、図 14・15、統計表 4・5・9)

- ・被患率を年齢別にみると、10歳(3.0%)が最も高くなっている。
- ・前年度と比較すると、半数以上の年齢で増加している。
- ・全国と比較すると、10歳を除くすべての年齢で下回っている。
- ・被患率を学校段階別に見ると、小学校が高くなっている。

◇表 13 年齢別ぜん息の者の割合 (単位：%)

区 分		埼玉県 (A)	前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)
幼稚園	5歳	0.9	0.2	0.7	1.2	▲ 0.3
	6歳	2.8	2.1	0.7	3.3	▲ 0.5
小学校	7歳	2.5	1.6	0.9	2.9	▲ 0.4
	8歳	2.7	2.2	0.5	3.0	▲ 0.3
	9歳	2.4	2.1	0.3	2.8	▲ 0.4
	10歳	3.0	2.2	0.8	2.7	0.3
	11歳	2.2	1.8	0.4	2.6	▲ 0.4
中学校	12歳	1.4	2.2	▲ 0.8	2.0	▲ 0.6
	13歳	1.3	1.9	▲ 0.6	1.8	▲ 0.5
	14歳	1.3	1.8	▲ 0.5	1.8	▲ 0.5
高等学校	15歳	1.0	1.2	▲ 0.2	1.4	▲ 0.4
	16歳	0.8	1.1	▲ 0.3	1.4	▲ 0.6
	17歳	1.0	1.1	▲ 0.1	1.4	▲ 0.4

◆図 14 学校段階別ぜん息の者の割合



◆図 15 ぜん息の者の割合の推移 (埼玉県)

